## ［2024年2月 月間予定表－東脽－］

| 2月の矛定 |  |  |
| :---: | :---: | :---: |
| 1 | 木 | $\bullet$ |
| 2 | 金 |  |
| 3 | $\pm$ |  |
| 4 | 日 | 「超•図形特訓」（ 3 生対象湅野校）$^{\text {a }}$ |
| 5 | 月 |  |
| 6 | 火 |  |
| 7 | 水 | 休校日 |
| 8 | 木 |  |
| 9 | 金 |  |
| 10 | $\pm$ | ＊私立高校入試開始＊ <br> 『定期テスト攻略講座』（花山中対象） |
| 11 | 日 | 「定期テスト攻略講座」（龙山中対象） |
| 12 | 月 | 休校日 |
| 13 | 火 |  |
| 14 | 水 | 休校日 |
| 15 | 木 | －公立高校前期入試• |
| 16 | 金 |  |
| 17 | $\pm$ |  |
| 18 | 日 | 「定期テスト攻略講座』（翊•安咩寺中奶象） |
| 19 | 月 |  |
| 20 | 火 |  |
| 21 | 水 | 休校日 |
| 22 | 木 |  |
| 23 | 金 | 休校日 |
| 24 | $\pm$ |  |
| 25 | 日 |  |
| 26 | 月 |  |
| 27 | 火 |  |
| 28 | 水 | 休校日 2023年度授業終了 |
| 29 | 木 | 新年度準備期間 ${ }^{\text {a }}$ |
|  |  | $\nabla$ |
| 3／6 | 水 | 休校日 2024年度授業開講 |

※諸事情により予定を一部変更する場合があります。
［12月度のMVP】
－小4 S•A＜ん
K•T＜ん

- 小6 Y•N さん
- 中 1 A•M さん
$\mathrm{M} \cdot \mathrm{T}<ん$
A•H さん
$K \cdot T<ん$
－中2 H•Y＜ん
冬期明けテストで見事ランクイン！！


## 2月行事について


いよいよ始まる高校入試。今年の受験生もよく勉強しました。あとは全力を出し切るのみ！

## 【教育者の在り方】

保護者の皆様，明けましておめでとうございます。
昨年同様，今年も変わらずお付き合い頂けますよう，よろしくお願いいたします。
スイスのある貧しい村で，元気に駆けまわって遊ぶ子どもたちをじっと見つめる老人がい ました。彼は微笑みながら，ときどきしゃがんで何かを拾っていました。
その光景が毎日続くので，怪しんだ警察官が「失礼ですが，何を拾っているかを見せても らえますか」とたずねました。
老人がもじもじしていたので，ますます怪しいと思った警察官がポケットに手をつっこむ と，その中には．．．．．．
その中にはガラスの破片やさびた釘などがぎっしり入っていたのです。
老人は子どもたちを指さして「ほら，あのとおり，裸足なのでね」と言いました。
実はこの老人が＂近代教育の父＂とも呼ばれる，教育家のペスタロッチだったのです。 いつでもどこでも，子どもたちに誇れるような行動をとることが大人の役目です。
「子どもたちは，おとなの話ではなく，おとなのあり方によって教えられる」
by カール・グスタフ・ユング
受験生へ
もうすぐ卒業ですね。
早いもので君が中学校に入学してから3年が経とうとしているのですね。 どおりで私の白髪も増えるはずです。今日までいろんなことがありました。

授業中に途中で集中力が切れて叱られたね。宿題のやりようがあまくて叱られたね。
単語テストの点数が悪くて叱られたね。ノートの取り方が雑で叱られたね。
叱られてばっかりやん！（苦笑）
でも，定期テストの点数が上がったときは，本当に嬉しかったね。
今だから言えますが，勉強が苦手な君が，数学が楽しくなってきたと言ってくれたときは，少しうるっときました。
学校の成績に納得出来なくて，一緒に怒り狂ったこともあったね（へへ；）
一生懸命にがんばった君を，一番近くで見てきたから。
しんどいことも乗り越えてきた君のことだから。
他の大人にも認めてもらいたくて……。
そんななかでも，やっぱり，ぶっちぎって，夏期講習はしんどかったね。お互い（T＿T）朝から晩まで塾でしごかれて，弱音を吐いて，くじけて，逃げ出したりもしながら（笑） それでも，今，目の前には，
確かにレベルアップした君がいる。
そんな君が私の誇りです。
転んでも転んでも，そのたびに立ち上がった。
背中を見せてきたはずが，いつしか背中を見せられてきました。
これからも私がこの仕事をしていく価値がそこにあります。
それが私の生きる意味そのものです。
私の宝ものたち。
この先で道に迷ったら，帰っておいで。
「応援」……ではなく
「協力」するからね。
私たちは君たちのしあわせがいちばんですから。
「2月が一番好き」。そう言う作家がいました。
2月は1年で一番寒いけど，その寒さの中に春の予感が充満しているから…と。
巣立っていく子どもたちのなかにも芽生えつつある
未来を担っていこうとする決意に，ありったけの愛情を注ぎたい。
塾長 山田 大介

